

**組織の目標設定シート(行政経営Aシート)**

組織	環境政策課
職	課長
氏名	広川 達也

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
今日の環境問題は、大気や土壌などの環境保全に加え、温暖化等地球環境の保全も課題となるなど、広範囲で複雑多岐にわたるものとなっている。 このような状況の中で、環境への負荷を少なくするための施策を講ずることにより、本県の生活環境を保全し、循環を基調とする持続可能な社会を目指す。	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>				
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>				
①県民にとって身近である生活環境(大気、土壌、騒音・振動など)、地球環境の状態を示す指標が、国が定める環境基準を下回っていること。					
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>				
<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>
①ダイオキシン類の環境基準達成率(大気、土壌のみ)	100.0%	25年	100%	26年	ダイオキシン類対策特別措置法等



<b>26年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
①大気環境の保全	①監視活動の充実・監視体制の強化 ②大気汚染防止法の法令に基づく規制の徹底
①土壌汚染対策の推進	土壌汚染リスク情報の収集により、土壌汚染対策法の法令及び条例に基づく規制の徹底
①騒音・振動対策の推進	土地利用実態に合わせた騒音・振動規制地域の見直しや航空機騒音の監視を行い、騒音対策の充実を図る。
①化学物質汚染防止対策の推進	化学物質の環境中における残留状況や汚染状況等の実態調査の実施
①地球環境の保全	①フロン回収の徹底 ②酸性雨、黄砂等の実態調査の実施